

4月16日離任式をしました。他校へ転任、採用された先生方8名のうち7名の先生方が来られて挨拶をしていただきました。生徒



たち一人一人と本当に向き合ってお指導いただいた先生方ばかりなので、話をされる言葉にも重みがあり、生徒たちもよく聞いていました。若い先生方が多かったので、生徒への思いや自らの仕事への思いが強く、生徒の心にも響いたことと思います。勤務年数に違いはありますが、

本校のためにご尽力いただき本当にありがとうございました。先生方の今後のご活躍をお祈り申し上げます。



4月17日・18日は東播地区バレーボール春季リーグ戦が、各高校を会場に開催されました。女子は高砂高校で1部が行われ、本校女子が参戦したのですが、惜しいところでの

敗戦があり、2部に降格になったようです。力は拮抗していたので、力の差はあまりないように感じましたが、この悔しさをバネに総体に向け頑張ってもらいたいです。一方男子は本校を会場に1部が行われ、私が見た試合は西脇工業高校との一戦でしたが、2セットとも接戦を制して勝利を収めていました。両方の試合を見ていて感じたことはやはり基本は大事だということです。イチロー選手が「びっくりするような好プレーが勝ちに結びつくことは少ないです。確実にこなせないといけないプレーを確実にこなせるチームは強いと思います。」と語っています。基本に忠実に、やってきたことをしっかりやるということが大事だということです。勉強でもそうですが、やっていないことはできなくて当たり前なわけで、やったことをどれだけミスできるかが勝負です。よく試合で120%の力を出してと言いますが、プレッシャーに



なりすぎるとかえって力を出せないことが多いです。そこで私は「90～95%位の力が出せればよい。残りの気持ちの余裕がプラスに働けば思いもよらない力を発揮することにつながるから。」とよく生徒を激励しました。力を出そう出そうとすると逆に力が入りすぎて普段できていることまでできなくなるという話はよくあります。基本に忠実に総体に向けた仕上げを頑張ってください。

また、同日陸上競技部は記録会に出場。10日に引き続き2戦目となります。10日はとても天気が良かったのですが、17日は結構な雨で寒くかなり条件は悪かったです。それでも安定した力を見せ、冬の練習の成果が感じられる選手が多くいました。中にはケガの不安から十分な成果を出せない選手もいたようですが、やってきたことは裏切らないので、自分が取り組んできたことに自信を持ち、これから深まるシーズンに向け力を発揮してほしいと思います。またこの大会では東京オリンピック女子5000m代表、小野市出身の田中希実さんが800mと3000mに出場されていましたが、誰もが力の違いを理解できる圧巻の走りでした。800mを走って2時間後の3000mでは暴風雨の中、独走で力強い走りを見せてくれ、元気をもらいました。今年もかなり期待できそうな走りでした。800m～5000mまで幅広い距離をこなし、課題をもってレースに出られる姿は多くの人に勇気を与えてくれます。今後の活躍に期待したいですね。

新入生が入学して10日が過ぎました。まだまだ緊張感は抜けないと思いますが、高校のリズムには慣れてきたところでしょうか。1年の寮生も先日入学以来の帰宅をした生徒もいたと思います。保護者が迎えに来られている姿、保護者のもとへホッとした顔で駆け寄る生徒を見ていると覚悟を持ってきても生活の激変で精神的にきつい部分もあるかもわかりません。体や心の変化を見逃さず、私たちもしっかりと見守らなければと思っています。

新型コロナウイルス感染は状況がなかなか好転しません。感染防止対策はもちろん、体調を崩さないよう規則正しい生活とマナー厳守で学校教育活動が継続できるようご協力をお願いします。万が一体調が悪い場合は学校に早めの連絡をお願いします。